

9 ほけんだより

令和4年
9月1日(木)
東保育所

9月9日は「救急の日」です！

ご家庭での事故やけがへの注意は万全でしょうか？小さな子どもは、まだ危険予測が難しく、好奇心旺盛で怖い物しらずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。



家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？**0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1.2歳児もゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするためにも、誤飲につながるような小さい物(硬貨・ボタン電池・薬など)はしっかり管理しましょう。



キッチン

炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所



浴室

残り湯に落ちる、目を離したすきに溺れるなど、水の事故の危険があります。



リビング

ソファなどから落ちたりたばこや電池を飲み込んだりといった事故がよくあります。



ベランダ

台などに登り手すりを超える事故が3歳以上急増します。

39mm
(だいたい
ピンポン玉ぐらい)

この丸は子どもの口の大きさと同じです。
これより小さなものは手の届かない所に保管を！

転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

すぐ病院に！

一つでも当てはまる場合

- 繰り返して吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう。左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している。出血がひどい

子どもはよく転んだり落ちたりして頭を打つことがあります。下記を参考に、注意深く様子を見てあげましょう。

左の項目にあてはまらないときは次の点を守って、数日間は注意して様子を見ましょう。

- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる
頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。
 - 症状が出てきたらすぐに受診する
 - 夜寝ているときの様子もチェックする
- 睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。

- 少しずつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ピクピクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない

